

令和2年度

事業報告書

元気館障害者

デイサービスセンター

目 次

1. 寄附	1
2. 生活介護	2
2-1 利用者の状況	2
2-2 利用実績	2
3. 機能訓練	3
3-1 利用者の状況	3
3-2 利用実績	3
4. 地域活動支援センター	3
4-1 利用者の状況	4
4-2 利用実績	4
5. 放課後等デイサービス	4
5-1 利用者の状況	4
5-2 利用実績	5
6. 一般相談支援事業	5
6-1 基本相談支援	5
6-2 地域移行支援	6
6-3 地域定着支援	6
7. 特定相談支援事業	7
8. 居宅介護事業（移動支援）	7
8-1 利用者の状況	8
8-2 利用実績	8
9. 保健衛生	8
10. 行事	9
11. 給食	9
12. 災害防護訓練	10
13. 職員の配置状況	11
14. 職員研修	11
14-1 内部研修	11
14-2 外部研修	12
15. ボランティアの受け入れ	12
16. 視察・研修・慰問の受け入れ	12
17. 実習の受け入れ	12
18. 苦情相談	12
19. 事業計画等に対する評価	13

令和2年度 事業報告

令和2年度は、柏崎市の指定管理第3期目の最終年である。柏崎市指定管理の継続に向けて柏崎市福祉保健部及び福祉課障害相談係と協議を重ねた結果、令和3年度から5年間の指定管理契約更新となった。デイサービス事業は利用者一人一人のニーズに添い、「明るく楽しいデイサービス」を念頭に、サービス提供を継続した。

生活介護では、1日平均の利用人数は17.9人から18.2人と0.3人増で昨年度実績を維持した。の申請を行った。平均障害支援区分は、4.6と変更がなかった。6名（令和3年3月31日現在）の利用者の医療的ケアのニーズへ対応（看護師配置）した。入浴と運動のニーズを中心に対応し、入浴においては、特殊浴槽を活用し最大限の受け入れを行った。行動障害の対応を求められる利用者が微増した。強度行動障害支援者養成研修修了者を配置し重度障害者支援のため支援手順書に沿った支援を行った。

機能訓練では、1日平均利用者数が、0.2人から1.1人に増加した。利用者ニーズへ対応できる支援体制の継続に努めた。新型コロナウイルスの感染予防対策のため4月21日から5月6日までの間を臨時休業とした。

地域活動支援センターⅡ型事業では、1日の平均利用者数（3回/月の土曜日利用含む）は6.2人となっており、昨年10.2人に比較して4.0人の減少となった。生活リズムを整えることを目的とした利用（送迎サービス有）及び利用者間の交流の機会の提供等へ対応した。土曜日は革細工・紙粘土作品・籐製品・ペーパークイリング・編み物の作品作りを行った。新型コロナウイルスの感染予防対策のため4月21日から5月6日までの間を臨時休業とした。長岡のクラフトフェア等の外出支援も見合わせた。

放課後等デイサービス事業では4月から新規事業として営業を開始した。定員5名のところ2.9人の実績だった。長期休暇には1日の利用受け入れを行った。保育士、看護師を配置し利用者ニーズに対応できる体制を整えた。

大雪となった1月12日は全ての通所事業で利用人数を調整し送迎車を1台減にして営業した。年度を通してサービス提供を安全に継続するため、新型コロナウイルス感染防止対策についての情報収集や検討、実施に努めた。

一般相談支援事業では、基本相談支援事業の実人員が65人（昨年度より6人減）、地域移行支援の実人員が1人（昨年度より1人減）、地域定着支援の実人員が6人（昨年度より1人減）、相談件数418件（昨年度より58件減）となっている。7月15日にサテライト相談窓口みどころをフォンジエ内に開設し、相談業務、法人各施設の作品展、販売、求人業務を行った。

計画相談支援事業では、128人（昨年度より10名増）のサービス等利用計画を作成した。相談件数904件（昨年度より274件増）となった。法人内相談支援事業所のサービス等利用計画の独立性を担保し、今後の利用者ニーズへ対応するため、相談支援専門員4名（専従3、兼務1）による相談支援体制（令和2年度より開始）を整えた。

居宅介護208人（16人減）、行動援護23人（13人増）、同行援護10人（2人増）、重度訪問介護1人（8人減）、移動支援34人（49人減）、児童休暇利用等0人（5人減）となっている。新型コロナウイルスの感染予防のため利用者から訪問を控えるケースがあり居宅介護は大きな減少となった。同様に余暇支援の移動支援も感染状況を見ながらの支援となり減少となった。

以下、令和2年度の事業を報告する。

1. 寄附

- ①寄附金
なし

②寄附物品

年月日	寄附者	寄贈品
令和3年2月15日	柏崎信用金庫 (空気清浄機 1台)	92,950円
計	1件	92,950円

2. 生活介護

1日平均の利用人数が、17.9人から18.2人と0.3人の増加となった。平均障害支援区分は、4.6と変更がなかった。4名(令和3年3月31日現在)の利用者の医療的ケアのニーズへ対応(看護師配置)した。入浴と運動のニーズを中心に対応し、入浴においては、特殊浴槽を活用し最大限の受け入れを行った。行動障害の対応を求められる利用者ニーズがあった。強度行動障害支援者養成研修修了者を配置し重度障害者支援のため支援手順書に沿った支援を行った。

2-1 利用者の状況(令和3年3月31日現在)

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢(歳)
男性	3	8	11	3	25	44.6
女性		7	16	2	25	48.0
計	3	15	27	5	50	46.3

②障害支援区分別人数

(単位:人)

区分	1	2	3	4	5	6	計
男性		3	4	4	9	5	25
女性		2	3	1	6	13	25
計		5	7	5	15	18	50

③身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性	15	7	3		25
女性	16	8	1		25
計	31	15	4		50

2-2 利用実績

(1日定員18人)

(単位:人)

月	利用者実数	新規登録者数	終了者数	延べ利用者数	利用率(%)	1日平均利用者数
4月	42	1		355	93.9	16.9
5月	42			294	90.7	16.3
6月	45	3		395	99.7	17.9
7月	45			368	97.3	17.5
8月	43	1	3	359	99.7	17.9
9月	46	3		374	103.8	18.7
10月	46			413	104.2	18.7
11月	47	1		359	104.9	18.9
12月	47			380	105.5	19.0
1月	47			331	96.7	17.4
2月	44		3	333	102.7	18.5
3月	44			421	101.6	18.3
年間合計		9	6	4,382	100.1	18.2

3. 機能訓練

1日平均利用者数が、0.2人から1.1人に増加した。利用者ニーズへ対応できる支援体制の継続に努めた。

3-1 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢(歳)
男性		1			1	39.0
女性		1	1		2	50.0
計		2	1		3	46.3

②障害支援区分別人数

(単位:人)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
男性	1							1
女性	2							2
計	3							3

③身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性	1				1
女性	2				2
計	3				3

3-2 利用実績

(定員3人)

(単位:人)

月	利用者実数	新規登録者数	終了者数	延べ利用者数	利用率(%)	1日平均利用者数
4月	2	1		10	23.8	0.7
5月	2			17	31.4	0.9
6月	2			26	39.3	1.2
7月	2			23	36.5	1.1
8月	2			23	38.3	1.1
9月	2			21	35.0	1.0
10月	2			21	31.8	0.9
11月	2			19	33.3	1.0
12月	3	1		30	50.0	1.5
1月	4	1		26	45.6	1.3
2月	3		1	28	51.8	1.5
3月	2		1	24	34.7	1.0
年間合計		3	2	268	37.8	1.1

4. 地域活動支援センター

1日の平均利用者数(3回/月の土曜日利用含む)は6.2人となっており、昨年の10.3人に比較して4.1人の減少となった。放課後等デイサービスへ移行した児童の人数が表れたものである。生活リズムを整えることを目的とした利用(送迎サービス有)及び利用者間の交流の機会の提供等へ対応した。土曜日は革細工・紙粘土作品・籐製品・ペーパークイリング・編み物の作品作りを行った。土曜日の利用者向けに例年、長岡のクラフトフェア等の外出支援を実施してきたが、新型コロナウイルスの予防対策のため見合わせた。4月21日から5月6日の間を臨時休業とした。

4-1 利用者の状況 (令和3年3月31日現在)

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢(歳)
男性		1	11	1	13	56.8
女性		3	12	4	19	52.2
計		4	23	5	32	54.1

②障害支援区分別人数

(単位:人)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
男性	2	4	3	3			1	13
女性	11	1	4	1	1		1	19
計	13	5	7	4	1		2	32

③身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性	4	3	6		13
女性	8	5	6		19
計	12	8	12		32

4-2 利用実績

(定員10人)

(単位:人)

月	利用者実数	新規登録者数	終了者数	延べ利用者数	利用率(%)	1日平均利用者数
4月	30		6	132	94.2	9.4
5月	27		3	72	40.0	4.0
6月	29	2		166	66.4	6.6
7月	26		3	135	58.6	5.8
8月	28	3	1	147	63.9	6.3
9月	29	1		160	69.5	6.9
10月	29			170	68.0	6.8
11月	29			138	62.7	6.2
12月	26		3	129	56.0	5.6
1月	23		3	107	48.6	4.8
2月	26	3		124	59.0	5.9
3月	26			146	58.4	5.8
年間合計		9	16	1,626	62.0	6.2

5. 放課後等デイサービス

地域活動支援センターⅡ型で受けていた自宅での入浴困難な児童の入浴支援を移行する形で令和2年4月1日から新規事業として放課後等デイサービスを開始した。

5-1 利用者の状況 (令和3年3月31日現在)

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	7歳以上10歳未満	10歳以上13歳未満	13歳以上16歳未満	16歳以上19歳未満	合計	平均年齢(歳)
男性	2	1	2	2	7	12.7
女性		1	2		3	13.3
計	2	2	4	2	10	12.9

② 身体、知的、精神の各障害

(単位：人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性	5	2			7
女性	3				3
計	8	2			10

*身体障害に重症心身障害児を含む。

*登録10名中 入浴希望者7名

5-2 利用実績

(定員5人)

(単位：人)

月	利用者実数	新規登録者数	終了者数	延べ利用者数	利用率 (%)	1日平均利用者数
4月	7			39	37.1	1.8
5月	7			52	57.7	2.8
6月	8	1		71	64.5	3.2
7月	9	1		67	63.8	3.1
8月	10	1		54	54.0	2.7
9月	8			64	64.0	3.2
10月	8			71	64.5	3.2
11月	8			61	64.2	3.2
12月	8			57	57.0	2.8
1月	8			44	46.3	2.3
2月	8			52	57.7	2.8
3月	8			81	70.4	3.5
年間合計		3		713	58.6	2.9

6. 一般相談支援事業

相談支援専門員4名(専従3、兼務1)を配置し、柏崎市と刈羽村からの委託を受けて相談事業を実施した。基本相談支援事業の実人員が65人(昨年度より6人減)、地域移行支援の実人員が1人(昨年度より1人減)、地域定着支援の実人員が6人(昨年度より1人減)、相談件数418件(昨年度より58件減)となっている。令和元年度に引き続き第6期柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会の部会(サービス調整連絡会議、精神障害部会、子ども部会、相談支援連絡会)に相談支援専門員を派遣した。中越圏域相談支援事業連絡調整会議、中越圏域自立支援連絡調整会議地域移行支援部会に参加し関係機関との連携に努めた。柏崎厚生病院と関病院主催の連絡会は感染症対策のため実施が見送られた。7月15日にサテライト相談窓口みこころをフォンジェ内に開設した。相談業務、法人各施設の作品展示、販売、求人業務を行った。

6-1 基本相談支援

①基本相談支援を利用している障害者等の人数

(単位：人)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	54	50	3	112	201	17		8
障害児	11	14	2	23	2	1		
計	65	64	5	135	203	18		8

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数	36	52	19	255	2	14		40	418

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	178	25	53	70	1	21	9

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	17	1		2	41	418

6-2 地域移行支援

①地域移行支援を利用している障害者等の人数

(単位:人)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	1			107		107		
障害児								
計	1			107		107		

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数	39	3	5	48	8	2		2	107

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	29	13	6			2	6

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	30			2	19	107

6-3 地域定着支援

①地域定着支援を利用している障害者等の人数

(単位:人)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	6	2		3	1			
障害児								
計	6	2		3	1			

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数			2	2					4

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数			1	2			

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数					1	4

7. 特定相談支援事業

266人（昨年度より138名増）のサービス等利用計画を作成した。相談件数1446件（昨年度より542件増）となった。7月1日付で法人内の相談支援事業所の計画相談を当事業所で引き継いだことで昨年度と比較して大幅な利用人数増加となった。利用人数増に対応するため相談員4名（専従3名、兼務1名）の体制を維持した。

強度行動障害支援者養成研修（実践研修）、医療的ケア児等コーディネーター養成研修、「精神障害者の障害特性及びこれに応じた支援技法に関する研修」受講者が継続して相談業務を行った。

①計画相談支援を利用している障害者等の人数

（単位：人）

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	239	490	30	709	392	29	7	11
障害児	27	39	33	64		2		
計	266	529	63	773	392	31	7	11

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数	90	68	29	747	102	361		78	1446

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	814	61	208	18	3	79	57

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	60	15	3	10	118	1446

8. 居宅介護（移動支援）事業

居宅介護208人（16人減）、行動援護23人（13人増）、同行援護10人（2人増）、重度訪問介護1人（8人減）、移動支援34人（49人減）、児童休暇利用等0人（5人減）となっている。新型コロナウイルスの感染予防のため利用者から訪問を控えて欲しいと希望されるケースもあり居宅介護は減少となった。同様に余暇支援の移動支援も感染状況を見ながらの支援となり減少となった。児童は登校の練習のための限定的な利用の1名だった。

各事業のサービス提供にあたり、サービス提供責任者を中心にサービス提供内容の引継ぎ体制を整備（手順を明確にした書面を活用）し、各訪問介護員の研修を計画に沿って実施した。

8-1 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年 齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合 計	平均年齢
男 性	1	5	8	1	15	36.6
女 性		2	6	2	10	50.0
計	1	7	14	3	25	42.0

②障害支援区分別人数

(単位:人)

区 分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
男 性	1		5	2		4	3	15
女 性		2	4	2			2	10
計	1	2	9	4		4	5	25

③身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害	発達障害	計
男 性	9	3	3			15
女 性	5	2	3			10
計	14	5	6			25

8-2 利用実績

(単位:人)

月	居宅介護	行動援護	同行援護	重度訪問介護	移動支援	備 考
4月	16	1	1		2	
5月	18	2	1		1	
6月	19	2	1		1	
7月	17	2	1		3	
8月	18	2			4	
9月	19	2			5	
10月	18	3	1		3	
11月	15	2	1		4	
12月	19	2	1		3	
1月	18	2	1		1	
2月	16	2	1		3	
3月	15	1	1	1	4	
計	208	23	10	1	34	

9. 保健衛生

新型コロナウイルスの感染症の流行に伴い、利用者（職員）等の検温等の利用（勤務）前の体調把握、事業所内の環境改善、定時の換気等、感染予防に努めた。職員はマスクの使用に加え、入浴や食事介助の場面に応じてフェイスガード、ゴーグル、使い捨てエプロンを使用した。昼食休憩は休憩室が密にならないよう通常の2交代から3交代に分散させた。また来客者の記録や職員、利用者（家族）の県外の往来の対応について法人の感染予防基準に従って対応した。

月	内 容
4月～収束まで	新型コロナウイルス感染症対策
6月～9月	熱中症の予防
10月	インフルエンザ予防接種実施の注意喚起、感染症マニュアル等見直し
11月	ノロウイルス、インフルエンザ等研修

10. 行事

新型コロナウイルスの感染予防を優先し外出活動は中止とした。ボランティアを依頼する音楽ウィーク、チャレンジウィーク、ミニえんま市は内容を変更した。感染症予防に努めながら運動会、クリスマス会を実施し、楽しんでいただけた。

月	日	行 事
5月	30日(土)	柏崎クラフトフェア見学中止(クラフトフェアが中止)
5月	11(月)～15日(金)	音楽ウィーク中止 ゲーム活動に変更
6月	8日(月)～12日(金)	ミニえんま市 えんま市クイズに変更
10月	5日(月)～9日(金)	ミニ運動会
10月	10日(土)	国営越後丘陵公園見学中止
11月	9日(月)～13日(金)	チャレンジウィーク中止 ゲーム活動に変更
12月	14日(月)～18日(金)	クリスマス会
12月	19日(土)	クリスマス会
2月	1日(月)～5日(金)	節分

11. 給食

給食会議を活用して、災害用の水と食品の備蓄品等の確認、新型コロナウイルス感染症防止対応等について協議した。医師の指示がある8名へ療養食を提供した。アレルギー10名、禁止食品12名、ミキサー食4名へ対応した。

検食簿の「色彩」「盛り付け」の評価について、「普通」に加えて「良い」の評価があった。食事内容のわかりやすい説明に努め、ブログで写真を掲載した。

① 給与栄養量

栄養素 (単位)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂 質 (g)	炭水化物(g)		カルシウム (mg)
					食物繊維(g)	
数 値	628	22.8	16.1	96.0	4.4	120
栄養素 (単位)	鉄 (mg)	レチノール活性当量 (μ g)	ビタミンB ₁ (mg)	ビタミンB ₂ (mg)	ビタミンC (mg)	食塩相当量 (g)
数 値	2.2	244.0	0.30	0.26	35	2.9

② 食品構成

(単位；g)

食品	穀類		いも及び でんぷん類	砂糖及び 甘味類	豆類	種実類	野菜類	
	米類	小麦粉(そ の他)					緑黄色野菜	その他野菜
数値	82.5	6.2	19.66	9.57	13.0	0.3	57.9	75.56
食品	果実類	きのこ類	藻類	魚介類	肉類	卵類	乳類	油脂類
数値	8.77	7.06	0.69	26.51	29.5	7.37	5.91	2.81
食品	菓子類	嗜好飲料 類	調味料及び 香辛料類	調理加工 食品類	※日本食品標準成分表2015年版(七訂)搭載 に準ずる。			
数値	—	36.88	173.2	5.88				

③ 食事時間と形態

食 事	時 間	形 態
昼 食	12:00	行事食の提供有
おやつ	14:30	手作りおやつ、お菓子、飲み物

④ 行事食

月	日	行 事	献 立 (おやつ)
6	8(月)	えんま市	炒飯、中華スープ、焼きそば、チーズポテト、グリーンサラダ、グレープゼリー
	9(火)		鮭の和風ピラフ、野菜スープ、塩焼きそば、チキンナゲット、ほうれん草サラダ、プリン
	10(水)		ツナとごぼうのカレー炊き込みご飯、豆腐の味噌汁、お好み焼き、フルーツ、大根サラダ、ピーチゼリー
	11(木)		海老と炒り卵の御飯、白菜の味噌汁、焼きそば、エビチリ春巻き、南瓜と枝豆のサラダ、りんごゼリー
	12(金)		梅しらす御飯、里芋の味噌汁、お好み焼き、フライドポテト、春雨の中華和え、杏仁豆腐
12	14(月)	クリスマス	とうもろこし御飯、コンソメスープ、鱈のムニエルトマトソース、ほうれん草のごま和え、ストロベリーケーキ
	15(火)		えびピラフ、ミネストローネ、照焼チキン、大根の柚子ポン酢和え、ダブルロール
	16(水)		チキンライス、コーンスープ、ロールキャベツ、もやしのドレッシング和え、スイスロールケーキ
	17(木)		鮭ときのかバター御飯、青菜のかき玉スープ、ミックスフライ、白菜の甘酢和え、ロールケーキ
	18(金)		ガーリックライス、ポトフ風スープ、鶏肉のピザ焼き、南瓜サラダ、ティラミス

1.2. 災害防護訓練

11月に元気館全体の避難訓練（火災想定、消火訓練、避難場所玄関）に参加した。3月は、利用者参加による日中の避難訓練を実施した。日常的に、訪問者情報を共有できるよう、朝と夕方のミーティングを活用し、職員間の情報共有に努めた。10:00と15:00のデイ内外の巡回、月に1回のデイ屋外の巡回を継続した。4月は、新型コロナウイルス感染症予防のため、訓練を中止した。

月	訓 練 項 目
4	新型コロナウイルス感染予防のため中止
5	火災想定（マニュアルの確認）
6	地震及び火災想定（消火訓練、正面玄関から車庫へ避難）
7	地震及び火災想定（消火訓練、避難場所車庫）
8	地震の緊急アラーム作動時の振り返り（マニュアルの見直し）
9	地震及び火災想定（マニュアルの見直し）
10	風水害想定訓練（送迎時）
11	元気館全体の避難訓練（火災想定、消火器実施訓練、避難場所玄関）
12	高所避難（風水害、津波等）原子力災害（マニュアル見直し）
1	高所避難（風水害、津波等、避難場所元気館2階）、車椅子での階段使用訓練
2	不審者侵入防止訓練
3	火災想定（日中、利用者参加による訓練実施、消火器を使った消火活動）

13. 職員の配置状況（令和3年3月31日現在）

職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
		専従	兼務	専従	兼務	
センター長	1		1			社会福祉士
サービス管理責任者	1		1			介護福祉士
児童発達管理責任者	1		1			介護福祉士
サービス提供責任者	1	1				介護福祉士
医 師 (嘱 託)	1				1	内科
看 護 師	3		2	1		正看護師（2） 准看護師（1）
支 援 員	10	1	5	3	1	介護福祉士（1） 保育士（1）
機能訓練指導員	1				1	正看護師
保 育 士	1		1			保育士
相談支援専門員	4	3	1			社会福祉士（2） 介護福祉士（2）
訪問介護員	5	1	1	2	1	介護福祉士（2）
運 転 員	2			2		普通2種免許（1） 大型免許（1）
事 務 員	1		1			

- ・令和2年6月1日付でパート運転員1名雇用した。
- ・令和2年8月1日から、臨時支援員1名が産前休暇を取得した。
- ・令和2年9月18日から、臨時支援員1名が産後休暇、育児休暇を取得した。
- ・令和2年11月16日付で、パート支援員を1名雇用した。

14. 職員研修

新型コロナウイルスの感染予防のため研修の中止、延期が相次いだ。オンライン研修が受講できるよう整備し、10月以降は研修参加を進めることができた。オンライン研修に7名、施設外研修に延べ9名が参加した。

14-1 内部研修

① 法人（交換）研修

昨年度初めて実施したが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。

② 施設（集合）研修

柏崎市理学療法士による介護技術研修や法人職員による行動障害の支援研修を予定していたが新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

③ 施設（研修報告・意見交換）研修

年 月	内 容
9月	「職員自己評価」
10月	「強度行動障害支援者養成研修」
11月	「強度行動障害支援者養成研修」
12月	「福祉施設、職員のための感染症研修」「利用者アンケート」
1月	「現場で生かせる COVID19 対応研修」「高次脳機能障害研修」
2月	「感染症対策基礎編、「虐待防止チェックシート」

14-2 外部研修

① 外部研修

年月日	内 容	研修実施者	参加者
9月10日	安全運転管理者等法定講習会	新潟県公安委員会	1
9月29日	安全運転講習会	柏崎地区交通安全協会	1
10月7～8日	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	新潟県	1
10月12日	柏崎刈羽地域生活支援拠点事業所説明会	柏崎市、刈羽村	1
10月14日	新潟県知的障害福祉協会施設長会議 （オンライン）	新潟県知的障害者福祉協会	1
10月16日	高次脳機能障害支援従事者研修会	新潟県	1
11月10～11日	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	新潟県	1
11月13日	精神疾患の基礎知識と対応について	長岡地域振興局	1
11月14日	人材育成・定着セミナー（オンライン）	新潟県、新潟県社協	1
12月10日	成年後見制度研修会	柏崎社協	1
12月14日	福祉施設、職員のための感染症対策 （オンライン）	㈱日本医療企画	1
12月18日	現場で生かせる COVID19 対応研修(オンライン)	新潟県知的障害者福祉協会	1
	高次脳機能障害リハビリ講習会（オンライン）	高次脳機能障害リハビリ講習会実行委員会	
1月12日	感染症対策基礎編・応用編（オンライン）	日本医療企画	1
1月	高次脳機能障害研修		1
1月15日	親なき後に安全にお金を残すしくみ （オンライン）	㈱ジェイ・アイ・シー	1
3月26日	ボランティアセンター運営委員会	柏崎社協	1
計	16回		16名

15. ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルスの感染予防対策のためボランティアの受け入れは休止した。運動会、えんま市、クリスマス会の行事は職員のみで感染症予防に努めながら実施した。

16. 視察・研修・慰問の受け入れ

新型コロナウイルスの感染予防対策のため視察、研修、慰問の希望がなかった。

17. 実習の受け入れ

17-1

新型コロナウイルスの感染予防対策のため予定していた3名の保育実習の受け入れは中止になった。

17-2

はまなす特別支援学校の産業現場等における実習を1名受け入れた。

期 間	日数	学校・学年	種類	人数
10月14～16日	3日	県立はまなす特別支援学校高等部3年	産業現場等の実習	1
計		1回		1名

18. 苦情相談

令和2年度に受け付けた苦情はなかった。

19. 事業計画等に対する評価

(1) 「サテライト相談窓口みどころ」の開設と法人相談支援業務の一本化

フォンジェ（柏崎市ショッピングモール）内にサテライト相談窓口を開設し7月15日に開所した。月～金曜の13時から17時までを営業時間とし相談業務、少人数の会議場所として使用した。法人の求人業務（チラシ、ポスターの展示、面接などの連絡窓口）、松波の里、松風の里の作品展示、さざなみ学園の作品（えちゴんコースター他）の販売、にしやまの里の野菜を販売した。さらに柏崎信用金庫の本店と諏訪町支店で、さざなみ学園の作品販売を行うこととなり、対応業務を担った。フォンジェの利便性を生かし、多くの市民の皆様に法人への理解を深めていただける場として活用を始めることができた。

また、7月1日付で法人内の相談支援事業を一本化し、当事業所で計画相談事業を引き継いだ。サービス等利用計画の客観性を担保し、利用者のサービス向上につながるように努めた。

(2) 放課後等デイサービスの開始

地域活動支援センターⅡ型の入浴サービスを利用する児童を移行する形で放課後等デイサービス事業を4月1日から開始した。柏崎、刈羽地域の放課後等デイサービス事業は他事業所の定員に空きが出にくい状態が続いており、当事業所にも入浴を希望しない児童の利用依頼が寄せられている。登録10名中入浴なしの児童は3名となった。利用の問い合わせは増えており、必要な職員配置を維持し、地域のニーズに応えていきたい。

(3) デイサービスの提供体制、支援者の資質向上

医療的ケアが必要な利用者のニーズに応えられるように看護師3名の体制を維持した。強度行動障害支援者養成研修に職員を派遣し、安定的にサービスが提供できるように努めた。

1
2
3

4
5
6